

⑬大工原の田の神（上米地区）



- ・所在地 大字樺山字大工原
- ・型式 自然石
- ・像高 50センチ
- ・被り物 なし
- ・持ち物 なし
- ・建立年代 明治前期
- ・備考 『みまたの石造文化』（平成5年3月 三股郷土史研究会発行）の88ページにこの田の神は記載されています。以下はその抜粋です。

「田の神がなぜ住居敷地内にあり、屋敷神の祠の前（西方）に置かれているのか不明である。

砂岩で造られた素朴な田の神である。像を刻むものが多い中で自然石に文字（「田之神」）を刻んだものは稀であり、個人的に造立されたものと思われる。

頂部に何らかの工作がなされた痕跡を残す。豊穰を願う庶民の素朴な信仰がこの形を残したものといえる。」